

令和6年度 大野城市立大城小学校 校長室だより

第1号

(令和8年4月17日 金曜日)

【文責】校長 香月 伸公

大城の風



本校ホーム
ページは
こちらから←

令和8年度「安心できる居心地のよい」学校をめざして

大城小学校の令和8年度がスタートしました。保護者の皆様、お子様のご進級、ご入学、おめでとうございます。今年度、春日市立大谷小学校から転任してまいりました、校長の 香月 伸公(かつき のぶひろ)と申します。大城小の子どもたち、そして保護者、地域の皆様にとって、一番大切なことは、「安心できる居心地のよい学校」であると考えています。そのような学校づくりを目指して、これから職員一同、誠心誠意努めて参ります。どうぞ、よろしくお願いいたします。



1学期の「始業式」で子どもたちに伝えたこと

始業式、子どもたちと初めて出会う場で、これから1年間がんばってほしいと思っていることについて、次の2つのことを伝えました。

1つは、「気持ちのよいあいさつをする」ということです。

「気持ちのよいあいさつ」は、自分と相手との関係をよくする一番の方法です。

新しい学年がスタートする今日から、お友だちや先生方、地域の方々に、しっかりと

「気持ちのよいあいさつ」ができるステキですね。

あいさつは、子どもでも大人でも、誰もが気軽に始められるコミュニケーションの一つだと思います。まだまだ、あいさつをすることが苦手な子もいると思います。はじめは、あいさつをされたら、「軽く会釈をする」でもよいと思います。それでも気持ちは十分に伝わります。

これから少しずつ、最高レベルの「自分から進んで、立ち止まりあいさつ」に向かってがんばってほしいと思っています。まずは、私たち大人からあいさつをすすめていきましょう。

2つは、「自分らしく学ぶ」ということです。

自分が頑張りたいことを、自分で見つけたり、自分がやりたいと思う方法を、自分で決めたり、しっかり考え、最後までチャレンジしたりすることができたら、とってもカッコいいですね。

「自分らしく」とは、簡単なようで、実はとっても難しいことです。大人になればなるほどそうなのかもしれません。自分らしくあるためには、「自分は〇〇ができるんだ」という自己肯定感を高めていく必要があると考えています。これから、子どもたちが学習の中で、日々の生活の中で、主体的に働きかけることのできる場や友だちと互いを認め合う場をたくさん作っていきたいと思います。1年間よろしくお願いいたします。